

ぜん きょう じ
善巧寺報

4 月号



月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660 榎本明覚



● なんじゃもんじゃの木 (ヒトツバタゴ) ●

水戸光圀公が「あの木はなんじゃ?」と尋ねたところ、聞き取れなかった地元の人が「なんじゃもんじゃ?」と問い返し、そのまま名称になったという説もある「なんじゃもんじゃの木」。調布市深大寺境内のヒトツバタゴも「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれていて、4月下旬頃より真っ白な花をまるで雪が降り積もったかのように沢山咲かせます。

季節の花

～ なんじゃもんじゃの木 ～

定例法座

毎
十一日

＊ はなまつり ＊

◎四月十一日(月)

午後二時～三時

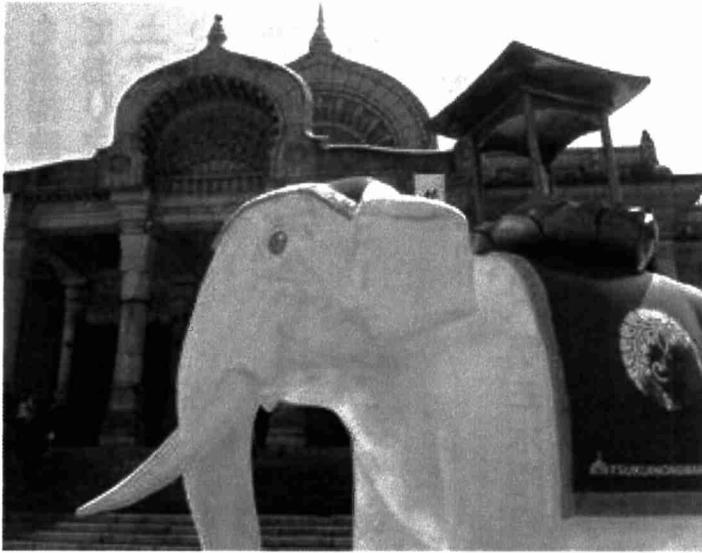
於 本堂

「お釈迦さまのご誕生」

四月八日は、お釈迦さまのお誕生日として全国で誕生仏に甘茶をかけてお祝いする灌仏会かんぶつえ(春の花が一斉に咲きだす時節から「はなまつり」と呼ばれます)が行われます。例年通り、十日の定例法座では花御堂はなみどうを設けてお祝いいたします。

お釈迦さまは、今から二五〇〇年前、釈迦族の王子としてルンビニー(インド国境に近いネパールの小村)にある花園でこ

誕生になりました。母摩耶夫人がご懐妊の際、白い象がお腹に入る夢を見たため、はなまつりでは白象をかたどった山車をお稚児さんが引くお練りが行われます。



仏教国であるタイでは、国王が官位を授けるなど白象が神聖

視されていて、多くの白象を飼育する事がすなわち王の威厳を表す事となっているそうです。

尊い方、お釈迦さまの誕生を多くの人々が祝福し、人間だけでなく動物たちも集まってきたと伝えられています。天人たちも喜び甘露を雨降らせませす。これが誕生仏に甘茶をかけてお参りする所以となっています。歓喜する人々の中、アシタ仙人という方だけは泣いていました。

「いずれこの王子さまは立派に成長し、人々の苦悩を救う仏陀となるだろう。しかし私はすでに年老いてしまい、その尊い教えの恵みに預かる事が出来ない。」

アシタ仙人の優れた洞察の通

り、お釈迦さまは二十九歳の時、

「なぜ私は、みずから生の法（ダルマ）を有する者でありながら生まれぬものを求め、みずから老の法を有する者でありながら老いるものを求め、みずから病の法を有する者でありながら病めるものを求め、みずから死の法を有する者でありながら死ぬものを求め、みずから憂の法を有する者でありながら憂いを求め、みずから煩惱の法を有する者でありながら煩惱を求めているのだろうか」

と生死の大問題を正視してご出家、ついに平穩なるお悟りを開く事になるのです。

※まん延防止措置は解除になりましたが、なおも感染拡大傾向が続いております。お寺としても清掃時の消毒・常換気を行っておりますが、リスクご勘案の上ご参拝下さいますようお願いいたします。

みほとけ会月例会

※ ZOOM ミーティング ※

開催日時は、

毎月第一木曜日、第三木曜日

午後八時開始・九時終了

参加ご希望の方は、

jettidget@gmail.com

まで

※『総永代経法要』について

感染拡大傾向、例年五月勤修の

総永代経法要は規模縮小で行い

ます。詳細は次号お伝えいたし

ます。

◆◆春日部だより◆◆

◎ロシアのウクライナへの侵略で目を覆いたくなるニュースが連日報道されています。私たちの心はお釈迦さまとは違い、動揺しやすく流されやすい、そして傷つきやすいものです。憂鬱な気分になってきたなと思ったら、音楽を聞く、お散歩する、運動する、いつもと違うお料理に挑戦するなど気分転換を大切に。

